

羊丘児童会館の指定管理者の選定結果について

1 選定委員会開催経過

第1回 令和元年5月28日 募集要項、選定方法等について

第2回 令和元年7月23日 面接審査、選定

2 選定委員会委員

委員6名（市職員1人、外部委員5人）

委員長 横井 敏郎 北海道大学大学院教育学研究院教授

委員 大澤 真平 札幌学院大学人文学部准教授

委員 辻本 悟 利用者代表（札幌市立羊丘小学校 PTA 会長）

委員 高橋 悠一 公認会計士

委員 藤井 啓道 社会保険労務士

委員 山本 真司 子ども未来局子ども育成部長

3 応募団体

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会（※既存の児童会館107館の現指定管理者）

非公募により応募を求めた理由：別紙のとおり

4 選定結果（指定管理者候補者）

(1) 選定された団体

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 理事長 野崎 清史

札幌市西区宮の沢1条1丁目1番10号

(2) 選定の理由

札幌市羊丘児童会館の設置目的の達成に有効な運営方針に基づき、施設の効用を最大限発揮できる具体的な事業計画を示しており、管理運営を安定して行うだけの経営能力と組織体制を備えていると判断できるため。

(3) 評価結果

選定基準	配点	候補者
① 平等利用の確保	5点	5点
② 施設の効用発揮	50点	49点
③ 安定経営能力	55点	46.2点
④ 管理経費の縮減	25点	17.3点
⑤ 施設特性を踏まえた運営	35点	32点
⑥ その他	30点	26点
合計	200点	175.5点
得点率	—	88%

選定方法を非公募とした理由

以下の(1)及び(2)の理由から、羊丘児童会館の指定管理者は、現在羊丘小ミニ児童会館の管理運営を行っており、かつ、既存の児童会館（107館）の指定管理者である公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会とすることが適当であることから、同協会に非公募で指定管理者の申込みを求めたものである。

(1) 一体的な管理運営

既存の児童会館（107館）については、地域間格差のない一定の水準を充たしたサービスを確保するために、非公募により一括で指定管理を行っているところである。

既存の児童会館の指定管理者である公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会は、災害時避難情報、館内事故情報及び不審者情報を、全児童会館に速やかに共有することができる独自のネットワークシステムを保有しており、緊急時に迅速な対応をとることが可能である。

また、同一の指定管理者により一体的な管理運営を行うことで、効率的な管理運営が可能となるほか、各児童会館単位での活動にとどまらず、市内の全児童会館を対象とした大規模な交流イベントの実施等、施設の設置目的に沿った多様な事業の企画立案が可能となっている。

(2) 利用者との継続的な信頼関係

児童会館の指定管理者の募集に当たっては、施設の性格上、一時的な利用にとどまる一般の貸館施設と異なり、児童の成長に関わる施設として、施設職員と利用児童やその保護者等との長期継続的な人的信頼関係が必要とされる。

羊丘児童会館の前身となる羊丘小ミニ児童会館においては、施設職員と利用児童やその保護者等との信頼関係が既に構築されており、当該ミニ児童会館を児童会館に転換した羊丘児童会館の管理運営については、現在当該ミニ児童会館の管理運営を行っている者に担わせることが適当である。

したがって、羊丘児童会館の管理運営についても、既存の児童会館と同一の指定管理者に担わせることが適当である。